



さいかい

2023.8
vol.114
Summer

Contents

- ・令和5年度定時総会報告
- ・第29回長崎県作業療法学会を終えて
- ・第30回長崎県作業療法学会
- ・達人Tell me ~series10~
- ・私たちのところ、こんなことやってます(宮崎病院)
- ・九州作業療法学会 2023 in 鹿児島
- ・令和5年度 新人さんご紹介
- ・SIGのご紹介(シーティング・NHL)
- ・お父さんOT

発行元：一般社団法人長崎県作業療法士会 事務局
長崎市東町1909 西川第1ビル101 代表 沖英一
企画・編集|長崎県作業療法士会 広報局



令和5年度定時総会が開催されました



総会の開会と成立

令和5年度定時総会は、長崎TMSセンターにて開催され、4年ぶりの対面形式となりました。

議長団としては、理事会より萩野裕樹氏（長崎リハビリテーション病院）が議長に推薦され、承認されました。

沖会長からの挨拶の後、福島事務局長より定足数の報告がありました。会員数1047名、休会者12名で議決権を有する会員数1035名に対し、今総会の出席者は586名（会場34名、オンライン11名、委任状提出者419名、議決権行使書提出者122名）で、定足数となる518名以上（議決権有する会員数の過半数）の出席を得て今総会は成立しました。書記には宮本祐希氏（長崎みなとメディカルセンター）、江崎祐介氏（長崎リハビリテーション病院）が、議事録署名人として生田敏明氏（長崎リハビリテーション病院）、牧野航氏（長崎北病院）が任命されました。

報告事項

1) 令和4年度事業報告

議案書に沿って、沖会長より、県士会事業の概要について、士会組織の在り方を再編し部局の役割の見直しを行ったこと、コロナの影響で会議や研修会はほぼすべてオンラインでの開催となったこと、長崎県が「地域密着型地域リハビリテーション支援機関」を指定し、より身近な関係構築に取り組んでいるため、その機関と連携して各圏域で活動支援が行えるように準備を進めていること等の報告が行われました。また、各局の詳細な活動に関しては、各担当理事から議案書に基づき説明が行われました。

2) 令和5年度事業計画および予算案

沖会長より、事業計画の概要として、コロナ禍のため研修会をすべてオンラインで行っていたが、今後は対面形式やハイブリッド形式に変換していくこと、それにより、交通費や会場費がかかってくるため、令和5年度はおおよそ適正な予算になっていくと思われること、また、令和4年度と5年度の違いとして、「ハラスメントに関する研修会」を企画すること、学術局で「長崎県作業療法士会研究補助金事業」を考えていること等の説明が行われました。

3) 第30回長崎県作業療法学会について

山田玄太学会長より学会テーマに関して、研究をしながら一步でも長崎の作業療法を前に進めたいという気持ちから「専門的な作業療法の探求と発展」としたこと等の報告が行われました。

4) 会員個人情報の取扱いに関する覚書の締結について

沖会長より、長崎県作業療法士会としては、定款に長崎県作業療法士会の会員はOT協会の会員であることと記載があるため、覚書の締結をすること、会員管理を一元化することで県士会事務局の負担軽減を図れること等の説明が行われました。

5) 特設委員会の県学会運営支援委員会について

小中原副会長より、本委員会設置の背景として、県学会をハイブリッド形式で開催することは今後必須になってくると思われるが、現在県学会は各地区持ち回りで担っており、ハイブリッド形式での開催方法や必要な機器に関する知識が蓄積されにくいことが課題として挙げられていること、本委員会が県学会実行委員会を支援していくこと等の説明が行われました。

6) 第31回長崎県作業療法学会 学会長の選任

理事会において選出された久保田智博学会長が挨拶され、学会テーマとして「レジリエンス」を考えていること、県士会員が交流できる場、若手が挑戦できる場としたいこと、市民への啓発も行っていくこと等が述べられました。

7) 令和5年度 日本作業療法士協会定時社員総会報告

前園副会長より、日本作業療法士協会定時社員総会に、沖会長、前園副会長、福島事務局長の三名が参加したこと、協会の役員改選があり、中村会長が退任され、山本会長が選出されたこと、2022年までの5か年計画の総括を中村前会長がされ、協会の組織改編があったこと、協会員＝県士会員の取り組みに関すること、臨床実習指導において臨床実習指導者講習会の受講が必要となること、MTDLPが国家試験に組み込まれること等の報告が行われました。

決議事項

1) 令和4年度事業報告・決算及び監査報告

決算報告について福島事務局長より詳細な説明を行い、これを受けて永石博範監事から監査報告が行われました。フロアとWebからも意見や質問はなく、賛成多数で可決承認されました。

2) 令和5年度事業計画及び予算案・学会長の選任

沖会長より事業計画と予算案の説明を 福島事務局長より第31回学会長の選任報告が行われ、賛成多数で可決承認されました。

その他

沖会長より、片田理事の退任について、2011年から12年間、教育局理事及び長崎地区理事として尽力されたが、この度辞任されることになったと報告が行われました。



第29回長崎県作業療法学会を終え



～つなぐ想いと明日への挑戦～

医療法人和仁会 和仁会病院 大坪 建



2020年1月に日本で新型コロナウイルス感染症COVID-19感染者の報告がされました。そこから約3年半、国内はもとより世界中でコロナ禍の状況の陥り、生活の様式の変容を余儀なくされました。その余波は作業療法士業界においてもこれまでの常識が覆され、各学会大会等においても伝統や想いを繋ぐべくオンラインでの開催で形を変えて、継続されています。

第29回長崎県作業療法学会はR4年2月より学会準備委員会を発足し、学会運営に必要な委員会の各委員長を選出、4月より学会実行委員会として粛々と進めて参りました。今回の学会のテーマを「不易流行」とし様々な思いの中で知恵を絞り企画して参りました。不易流行の中には簡単に言うと“不変と変化”があり、どのような状況の中でも変わってはいけないこと、また時代に応じて変わっていかねばならないという意味があります。私の中では“不変”という想いに焦点を当て、次世代へ諸先輩方の想いを繋ぎ、そして時代に応じて行動・意識変容が出来るようにと考えて進めて参りました。

特別講演では精神分野から精神科急性期専門作業療法士/精神保健福祉士の岩根達郎先生、身障分野からは日本作業療法士協会の理事の大庭潤平先生をお招きし、それぞれの専門分野や立場から講演を頂きました。また教育講演についても鈴木孝治先生より認知心理学の立場から「記憶障害と作業療法」をテーマに、そして以前より地域リハに寄与されている田平隆行先生より「地域在住認知症高齢者の生活行為に資するリハビリテーション」についての講演を頂きました。学会企画として、株式会社Canvas代表取締役の元廣惇先生より「産・官・民・金連携と地域共創」をテーマに、前田大輝先生より若手・中堅セラピスト向けにコミュニケーションを題材に、そして、川添奈菜先生に医療的ケア児の自主グループの立ち上げの実体験等の貴重な講演を頂きました。当日のLIVE配信はもとよりオンデマンド配信にて沢山の県士会員が視聴され、講演の先生方には今回のテーマの不易流行を考慮してもらい講演内容にも巧みに組み込んで頂き、視聴された皆さんの今後の指針の一つになったものと確信し、感謝しております。

WEB学会には良い面と悪い面があります。遠方の方や時間の調整が難しい方にとっては参加しやすくなった一方で画面越しの参加にて、参加者ではなく視聴者・観覧者となり、受け身的なものになることが多々見受けられます。また対面式ではないと体験できない臨場感も少なく、発表者、運営側の満足度、一体感の狭小化もあると感じました。5月よりCOVID-19は2類から5類へ移行され、以前に近い状況になってきております。将来的にはコロナ禍の良い面と従来のようなシステムや伝統を調和し、より良い形になってくれることを心願致します。



第30回 長崎県作業療法学会

テーマ：専門的な作業療法の探究と発展

日時：2024/3/9(土)～10(日)

会場：愛の夢未来センター（現地開催・LIVE配信）

学会長 山田 玄太（愛野記念病院）



新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ引き下げられ、徐々に以前の生活が戻ってきています。全国で開催されている多くの学会も現地での開催へと変わってきており、第30回長崎県作業療法学会も第26回以来となる現地開催となりました。これも新型コロナウイルス感染症で活動が制限されている中でも学会の開催を止めることなく続けてこられた方々のご尽力があつてのものです。第27回桑原学会長、第28回深見学会長、第29回大坪学会長、また学会長を支えた各学会の実行委員の方々や県士会理事の方々には深く感謝申し上げます。この3学会で培ったオンラインの経験を活かし第30回学会でも現地開催に加え、県内どこからでも参加できるオンライン配信も予定しております。現地参加できない離島の方々や子育て中の方々にも参加いただけたら幸いです。

本学会では、作業療法について深く考え、専門性を究め、長崎の作業療法を一步でも前へ進めたいという思いで、テーマを『専門的な作業療法の探究と発展』と致しました。学会企画である特別講演，教育講演，シンポジウムにおいても作業療法の専門性に関わるご講演・討論を頂戴する予定となっております。また特別企画では『離島シンポジウム』と題しまして離島で働く作業療法士の方々にご登壇いただき離島医療について現在の問題や今後の取り組みなどをご発表いただきます。

長崎県作業療法学会は、九州学会や全国学会へのステップアップの目的もあります。そのため多くの方々に本学会で演題発表への挑戦や学会参加の経験をしていただき、次のステージへの糧としていただきたいと思います。現在、学会開催へ向け実行委員が一丸となって準備しております。多くの方のご参加を心よりお待ちしております。



実行委員長
愛野ありあけ病院
坪田 優一



事務局長
愛野記念病院
秋山 謙太



財務局長
大村共立病院
畑田 美恵



演題募集・採択委員会
長崎リハビリテーション学院
山下 浩平



抄録委員会
愛野記念病院
岩永 祐一



広報委員会
池田病院
中村 ひかる



レセプション委員会
公立小浜温泉病院
永田 浩一



HP委員会
菅整形外科病院
中山 浩介



web委員会
ACT島原
兼元 博康



離島シンポジウム
長崎県対馬病院
篠田 真



県南理事
長崎子ども・女性・障害者
支援センター
原田 洋平



県南理事
公立小浜温泉病院
松尾 忠昭

【演題募集】

8/1(火) 9:00 ~ 9/30(土) 19:00

日頃の成果を発表する場として、さらなる専門性の追求や後輩育成の機会としてご活用いただければと思います！

《HP》



《Instagram》



対象者の大切な生活行為を知る

佐世保国際通り病院

内野保則



近年生活行為向上マネジメント（以下MTDLP）はほとんどの学校、養成施設で概論を履修され、日本作業療法士協会では生涯教育制度の現職者研修で必修とされています。また臨床実習指導者講習会では指導事例が挙げられ、日本の作業療法士は臨床、教育現場で耳にするはずで

MTDLPとは作業療法士の一つの臨床思考過程を説明したものであり、対象者にとって、本当に大切に重要な「やりたい」と思っている生活行為に焦点を当てた作業療法計画の作成ツールです。開発当初から作業療法のかたちをつくる、地域で活躍できる作業療法士を増やすことを目指し、作業療法全体を通して共通する基本的な枠組みとしています。つまり老年期分野、身障分野だけでなく、作業療法が関わる精神分野、発達分野にも活用できるものとされています。



図1 MTDLPのマーク

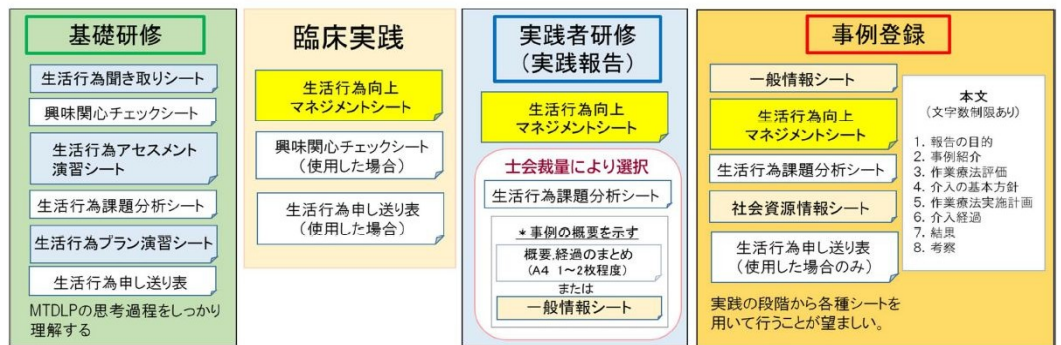


図2 各研修・臨床でのシートの使用

図1にあるシンボルマークは生活行為である「セルフケア」「家事」「仕事」「余暇」「地域活動」5つの領域を花びらで表現し、生活行為の実現を支援することで人々の心に大輪の花を咲かせるというMTDLPの目的を表しています。価値観、習慣が対象者によって異なるためしたい生活行為も様々です。対象者が本当にしたい生活行為を聞き取るために過去を知ること、生活歴の把握が重要となります。

MTDLPでは次の3つの視点を重視しています。①人を心身機能の側面のみ理解するのではなく「生活をする人」として、活動から参加までを捉える包括的視点、②対象者の生活を、過去から現在、そして将来まで「連続している生活」として理解し、支援する包括的視点、③対象者の「したい」と思う作業から始まり、「できる」「する」作業の実現へ、加えて地域の社会資源の活用による作業の実現まで幅広く捉える「作業の広がり」という包括的視点。これら3つの視点によって生活行為を役割、ライフスタイル、環境も含めて包括的にとらえ、対象者が重要としている生活行為を理解し、社会参加を意識することができます。詳細を知りたい方はぜひMTDLP基礎研修、事例検討会を受講していただければと思います。今年度はフォローアップ研修、書き方研修も開催予定です。そこで相談や様々な意見を聴いたらと思います。

現在日本作業療法士協会は臨床でMTDLPの部分活用をすすめています(図2)。基本的に初めて使う場合メインシートである聞き取りシート、アセスメント演習シート、プラン演習シートと、課題分析シートを使用することになっています。しかしシートが増えるだけで活用意欲を低下させてしまうため、個人的にはメインシートを1枚にまとめたマネジメントシートの使用が臨床で導入しやすいと思います。

またMTDLPでは対象者、家族からの聞き取りを行う際、個人因子、生活歴の把握を重要としています。メイン・サブシートに記載できる箇所はありません。OT協会の事例登録で提出する「一般情報シート」を使用すると対象者の生活歴を記載でき、おおまかな基本情報もおさえ、対象者が本当にしたい生活行為を考える一助となるため、マネジメントシートとともに臨床で使えるシートだと思っています。

シートは活用せずとも、まず担当している対象者の生活歴を把握し、本人、家族の希望を聞き取っていただきたい。対象者の生活歴、希望を知り、全体像を把握することで具体的な目標を設定しやすくなります。対象者は達成が見込まれる具体的な目標があると、大変でもやりがいをもって主体的にプランに取り組むことができます。

すべての患者、利用者にMTDLPを用いることは困難かもしれませんが、使わず嫌いにならず、まずは一度使っていただきたい。対象者にとっても作業療法士にとっても有用なツールだと思っています。

病棟実施型CI療法について

社会医療法人三俊会 宮崎病院 池田 結花



当院回復期では、脳卒中後の一部対象者の方に対して病棟実施型CI療法を実施しております。今回はその内容を紹介します。

病棟実施型CI療法とは？

OTが一对一で行う通常の修正 CI療法に加えて、NsやCW等の病棟スタッフと協業して病棟でも実施し不足している上肢の練習量を補う方法。病棟では主に shaping課題を行います。

導入から実施までの流れ

導入に際して...

病棟スタッフに対して事前に CI療法の目的や課題の種類、フィードバックの注意点などを説明しています。

対象者の抽出

文献を参考に当院で設定した基準を元に病棟実施型 CI療法の対象者を抽出します。

評価・目標設定

対象者の上肢機能の評価と目標設定を行います。

【当院で実施している評価項目】

FMA、STEF、MAL、SDS、COPM



申し送り・説明

NsやCWに対して実施する訓練メニューの内容、目的、注意点などを申し送りを行います。

本人へは通常のCI療法と同様に日常生活での麻痺手の使用状況を記載する日誌の記載方法について説明します。

当院では午前・午後に 20分ずつの介入を週6回、2週間もしくは4週間継続して行っています。

病棟スタッフと専用の記録用紙を介す、もしくは直接対象者の様子を聴取しながら情報を共有しています。

開始

実績・展望

実施対象者数 2022年度 4名
2023年度 4名

今現在、症例報告として 2名が第57回日本作業療法学会へ向けて発表の準備を進めています。今後症例数を増やし、症例報告だけでなく当院回復期リハビリの取り組みとして報告できることを目標に取り組んでいます。

さいごに

病棟CI療法を行うなかで対象者の方が日常生活でできるようになったことを話されたり、自身で目標を見つけて取り組まれる姿をみるととてもやりがいを感じます。病棟スタッフと協働することは時間や人手などの課題がありますが、同じ目的・目標に向かって取り組むことはチーム医療としての機能が向上する一つのきっかけにもなるのではないかと思います。



九州作業療法学会2023 in鹿児島

Kyushu Occupational Therapy Congress 2023 in Kagoshima

執筆者：久保田智博(長崎労災病院)

6/8(土), 9(日)に開催された九州作業療法学会in鹿児島に参加してきました!!
約3年ぶりの現地参加で改めて学会の大切さと楽しさを実感しましたので報告したい
と思います!!



口述発表の風景

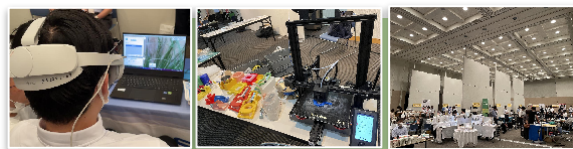
口述発表では、どのセッションでも約100人
程度の聴講者がいて、久しぶりの対面で緊張
しました。他施設の取組みが聴講できたり、
質疑応答では活発な協議もできて臨床のモチ
ベーションになりました。
次は優秀演題に選ばれるように頑張りたいと
思います!!



高橋尚子先生

【講演の聴講】

色々な講演を聴講して、改
めて作業療法の素晴らしさ
と可能性を感じることがで
きました。
全国の先生方と近くで話せ
るのは学会の魅力の一つで
す。



VR体験 3Dプリンター

【体験コーナー】

機器展示場では、目から鱗製品がた
くさんありました。



【郷土料理】

学会発表のご褒美として郷土料理を堪能!!
豚シャブや豚トロラーメン, カツオ料理が美
味すぎた🐷✨



【輪を広げる・深める】

発表後のお酒は別格にうまい!!この時間がある
から毎日頑張れる(笑)次の大分学会に向けて
頑張ろう!!沖会長とも一緒にさせていただきました。



投稿128件 フォロワー237人 フォロワー中135人

鹿児島県作業療法士協会/OT/リハビリ
鹿児島県の作業療法士の協会です!
作業療法士って何?
鹿児島ってどんなところ?
リハビリってなに?
kagoshima-ot.jp



【九州学会in鹿児島のSNS】

学会の魅力と、ご尽力されてきたプロセ
スが詰まっています🥰✨



【感想】

学会の現地参加の魅力は伝わったでしょうか?学会は職場の同僚や他県のOTとの親睦が深まり、仕事
のモチベーションになります。鹿児島学会では県士会員の仲間たちも沢山活躍されていました。
まだ発表に行ったことがない人や、発表したことがない人は、ぜひ学会に行ってみましょう!

令和5年度の

#今の



♡ 👁 📍 @権光リハビリテーション病院 📌

上戸瞳常に笑顔で患者様と関わり、親身になって寄り添えるOTになりたいです。

川内野茜 想いに寄り添い、常に暮らしを想像できるOTになりたいです。 **濱田翔気** 1年間を通して、知識や技術をたくさん身につけられるように頑張ります。



♡ 👁 📍 @長崎記念病院 📌

秋月郁花 楽しくリハビリができるよう頑張ります！

新真奈 安心感を与えられる作業療法士になれるよう頑張ります！



♡ 👁 📍 @佐世保中央病院 📌

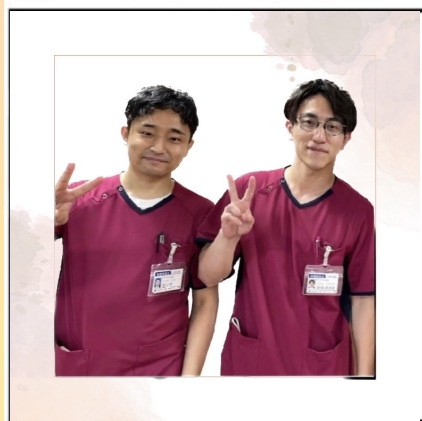
中村花音 精一杯頑張ります。宜しくお願いします。

濱崎ひより 患者さんに笑顔になってもらえるよう頑張ります。宜しくお願いします。



♡ 👁 📍 @上戸町病院 📌

草野深月 笑顔忘れず患者様の心に寄り添えるOTを目指して頑張ります！



♡ 👁 📍 @十善会病院 📌

西川智 知識や技術を患者さんに還元できるようにたくさん勉強したいと思います！

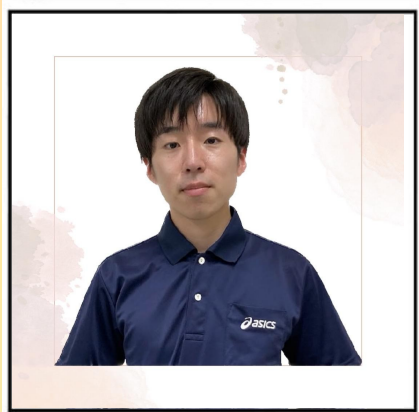
高橋凜太郎 患者様から信頼される OTを目指して精進していきます。



♡ 👁 📍 @十善会病院 📌

田栗鈴菜 患者様に寄り添い、一人一人に合った作業療法を提供できるよう頑張ります。

乾綾乃 先輩方のような素敵な OTになれるよう頑張ります！



♡ 👁 📍 @日見中央院 📌

下田博之 患者様とご家族様から信頼される作業療法士になれるように頑張ります！



♡ 👁 📍 @長崎リハビリテーション病院 📌

桑野楓 退院してからの生活を一緒に考え、患者様が望む生活に近づけるように支援したい。 **小野恵輔** その人らしさを考え、患者様に寄り添えるOTIになれるよう頑張ります。 **船島朱里** 患者様の思いを尊重し、退院後の生活を見据えて楽しく活動を行っていく。



♡ 👁 📍 @長崎リハビリテーション病院 📌

福井玲那 退院後を見据えた練習を提供し、患者さんの笑顔を引き出せる OTIになれるように頑張りたい。 **由利卓太郎** 一人一人の人生に目し、その人らしい生活を送って頂く作業療法を行う。 **川瀬倫花** 患身体機能面だけでなく、心のケアも行えるよう頑張る。

新人会員紹介

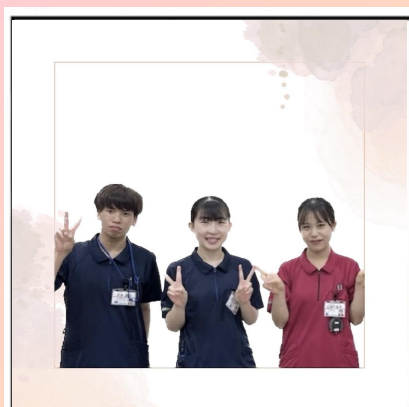
意気込み

(写真左から順に名前とコメント記載)



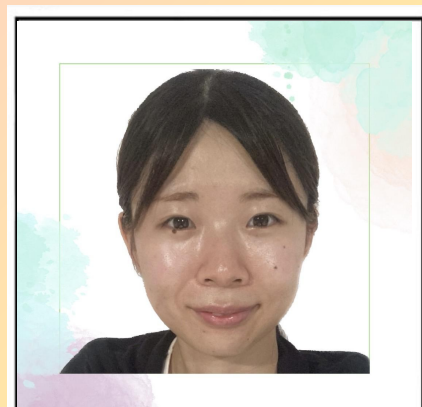
♡ 👁 📌 @長崎北病院 📌

川津あい 患者様の気持ちに寄り添えるOTになれるよう頑張ります。
平山ほのか 患者様が心身ともに元気になるリハビリを提供出来るような作業療法士になれるよう頑張ります！



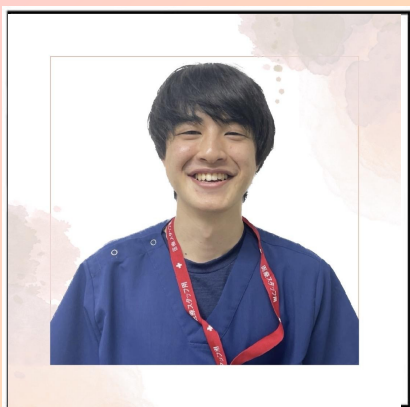
♡ 👁 📌 @長崎北病院 📌

岩本謙哉 目的を持ってリハビリし、安全に生活出来る環境にしたい。
前田凧沙 患者さんに生きる喜びと希望を与えられるOTになりたい。
北御門里奈 技術力・人間性共に成長し、周囲のスタッフにも求められるセラピストになれるよう頑張ります！



♡ 👁 📌 @長崎原爆諫早病院 📌

岩谷夏女子 患者様やスタッフの方々に信頼されるよう、自分らしく頑張っていきたいと思います！



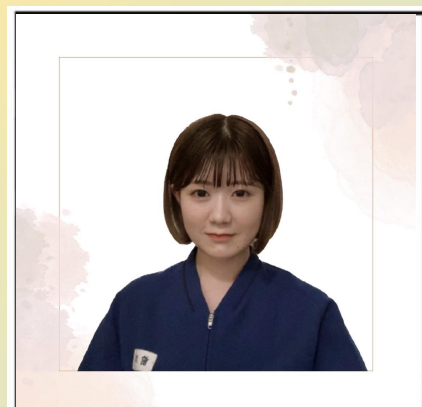
♡ 👁 📌 @長崎大学病院 📌

山下真生 患者様1人1人により良いリハビリを提供できるOTを目指します。学ぶ姿勢を忘れず、勉強会などにも参加していきたいと思っています！



♡ 👁 📌 @池田病院 📌

団野広大 多くの事を学び患者様から信頼される作業療法士になります。
明島キラ 患者様を笑顔に出来るような、楽しく地域に根ざした作業療法を提供していきたいと思っています。



♡ 👁 📌 @佐世保市天神病院 📌

前川もも 患者さんに合ったリハビリの提供と、笑顔と元気を届けられるOTを目指したいです！



♡ 👁 📌 @光武内科循環器科病院 📌

樋口可那美 学生時代にお世話になった病院に就職することができて本当に嬉しい。初の離島での一人暮らしで慣れないことも多いですが、精一杯頑張っていますので、よろしく願います。
島居美樹 私は離島生まれであり、自然豊かで人が温かいところで育った。就職する際も、地域と密着しており素敵な方々がたくさんおられるこの病院でぜひ働きたいと思い決めました。人と人のつながりが温かい病院で働けて毎日やりがいを感じています。



6月17日に新人オリエンテーションが開催されました。将来像についてのグループワークなど、対面での交流ができました。詳細は県士会ブログにアップしています、ぜひチェックしてください。



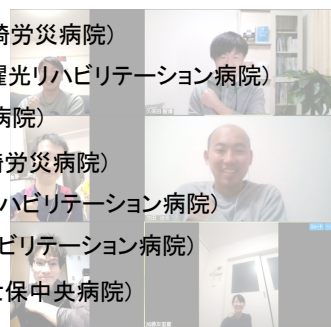


県北ハンドセラピー研究会

～Do you like OT??～



- 会長: 久保田智博(長崎労災病院)
副会長: 東原 太一郎(耀光リハビリテーション病院)
眞浦健人(杏林病院)
加藤友里夏(長崎労災病院)
池田佳宏(耀光リハビリテーション病院)
木崎康(耀光リハビリテーション病院)
橋本伸太郎(佐世保中央病院)



会の想い 長崎県士会員の皆さん、日々の臨床は楽しいですか?
他施設はどんなリハビリテーションをしているかご存じでしょうか?
サマリーだけの関係で満足していますか?コロナは落ち着きました。
これからはOTの輪を広げて、新しい知見やアイデアを多施設で共有
してワクワクした臨床にしましょう!!

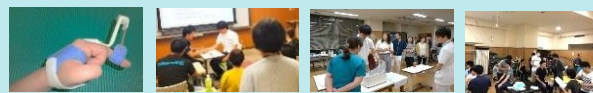
NHLとは?

当会は上肢の整形分野を専門に2017年に佐世保市を拠点に発足した研究会です。これまで計46回(肩、肘、手、頸椎、疼痛、スプリントなど)勉強会をコロナ禍でも精力的に行ってきました。時々外部講師もお呼びして、ご講義をいただいております。

勉強会の情報はSNSやFネットで定期的にアナウンスをしていますので、ぜひご確認下さい。

こんな人におすすめ

- ・他の施設の人と繋がりを持ちたい。
- ・職場に勉強会の風土がない。
- ・お金と時間がない。



HPやSNSから情報を入手



2023年度の計画は

- ・対面式で触診の勉強会やスプリント作りを佐世保周辺で開催していく予定です。
- ・zoomでの勉強会の依頼も相談に応じます。

事務局: 久保田智博

問い合わせ: sonyimp65@gmail.com

長崎シーティング研究会



研究会発足の経緯

坂や階段・離島が多い長崎では、暮らしを守り少しでも快適に過ごすために、医療・介護の現場において動作手段の検討や福祉用具の活用が不可欠であり、シーティングの視点でも大きく関わる必要性があります。シーティングをもっと学びたい、広めたいという想いのもと、福祉用具の分野で活躍されている2名のベテランPTとOTに相談し、2014年に当研究会を発足、現在はメンバー18名で運営しています。

これまでの活動

研究会発足後よりコロナ渦までの2020年までは年4～5回の研修を開催していました。対象はPT・OT向けの研修だけでなく、医療・介護職(看護師、介護福祉士、ケアマネージャー)向けの研修も行っており、県内だけでなく県外

(佐賀や熊本)からの参加もみられるなど、交流の輪が広がっています。事例検討会や外部講師を招いた技術研修、福祉機器展など、これまでの活動をまた企画できればと運営みなで考えています。写真は2018年に福祉機器展を開催した時の様子です。100名を超える方に来場頂きました。

今後の活動

安全性および感染リスクへの配慮を行いながら、集合研修を再開す道も模索している段階ですが、オンライン研修や、対面とオンラインを同時に行なうハイブリッド型研修を軸に、活動をしていく予定です。オンラインであれば、居住地に関係なく参加できるメリットもあり、積極的にSNSを用いた広報も行っていきたいと考えています。



SNSのフォローも待ってます

Facebookアカウント
長崎シーティング研究会
Instagramアカウント
長崎シーティング研究:seatingteam.Nagasaki

更新は不定期ですが、頑張ります!
研修会案内も行いますのでよければフォローください!!

今後もシーティングや福祉用具を学び、活用するための活動を続けてまいります。色々な方と繋がり、対象者に役立つ情報共有や知識の補完を、ともに行なっていけると嬉しいです。

代表: 長崎北病院 山田 麻和

連絡先: Nagasaki.seating@gmail.com

新米

パパOTとして

＜長崎市社会福祉事業団 長崎市障害福祉センター＞ 江頭雄一

Profile

2012年に作業療法士の免許取得後、長崎市障害福祉センターに入職して現在に至る。職場では発達症(自閉スペクトラム症、ADHD、LDなど)のお子さんを対象に遊びや活動を通して運動・感覚面や対人意識を目標とした療育を実施。

2020年に結婚。2023年5月に第一子となる男の子が誕生。家族は妻・長男・うさぎ(江頭家としてはこちらが長男です)

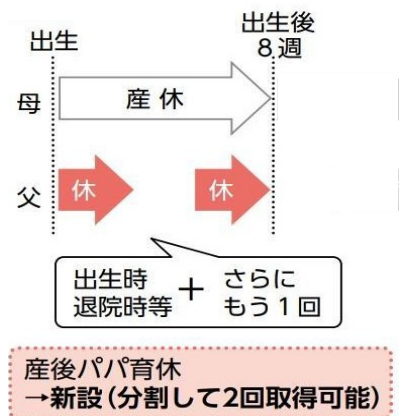
子どもの誕生

2023年5月14日午前6時5分、私たち夫婦にとって忘れることができない瞬間でした。待望の子どもを授かってから妻のひどい悪阻など、幾多のことを乗り越えたことが頭をよぎりながら、我が子を見ていました。生まれてきた子どもと頑張ってくれた妻には感謝しかありません。今回、新米パパOTとなり、広報局員でもある私自身のことをお話します。

育休をとりました

今回、私は昨年施工された「産後パパ育休制度」を利用することにしました。元々、育休をとるつもりではいたのですが、仕事の調整や経済面での不安もありました。この制度は右図のように出産予定日から8週間内に合わせて4週間の育休がとれる制度です。期間内であれば2回に分けられ、出産が予定日と前後しても調整できます。私も里帰り出産の妻に合わせて、産後退院してからと、妻が我が家に戻ってからとの、2回に分けました。これから育休をとるかどうかが悩んでいるパパOTの方は参考にしてください。ただ、職場によって違いがあるかもしれませんので、事前に職場へ確認してください。

(引用出典：厚生労働省 <https://www.mhlw.go.jp/>)



“親”となって気づいたこと・変化したこと

OTとして、パパとして...

育休の考え方はそれぞれあると思いますし、OTという職種を考えると調整が難しいこともあります。私も担当の保護者さんへの連絡や、チームで動く業務には他のスタッフへお願いなど大変な点はありました。しかし、私としては今回、育休をとって良かったと思っています。このような言い方は適切ではないかもしれませんが、一人の対象(我が子)に対して、じっくりと関わり、泣けば「今は何をしてほしいのかな。」「自分のやり方は良かったかな。」「次からはこうやってみよう。」とある意味、OTとしても大切な動きを自然とやれていたと思います。

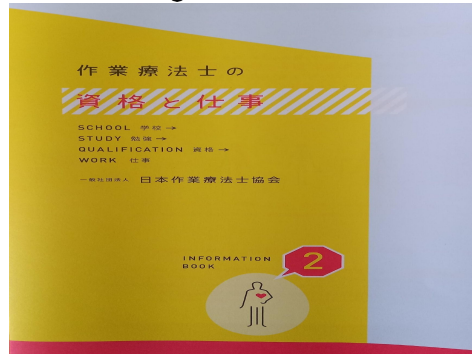
育休が終わって職場へ復帰し、子どもも大きくなっていけば、育児が大変に感じることは多くなるでしょう。しかし、子どもの笑顔や成長を見れるのは、その大変さを上回る価値だと考えています。生まれてきた子ども、もう一人の子ども(うさぎ)と妻と共に楽しく過ごし、パパOTとして頑張っていきます。



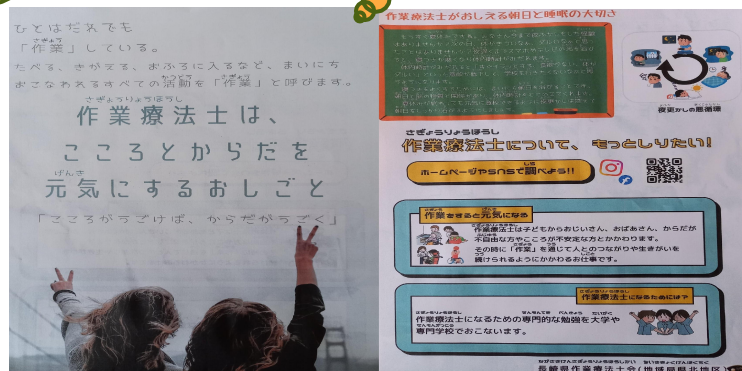
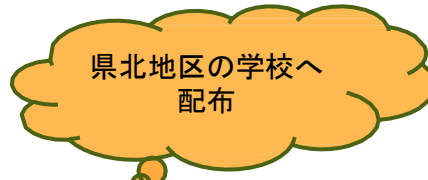
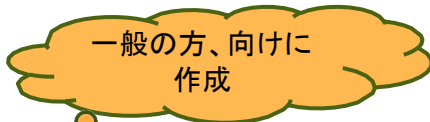
広報誌 パンフレット紹介

日本作業療法士協会、長崎県作業療法士協会の広報誌・パンフレットがあることをご存じですか？

日本作業療法士協会発行



長崎県作業療法士協会発行



協会ではOTの啓蒙、啓発活動を様々な場面で行っています。コロナも5類へ移行し、福祉祭りなども徐々に再開するかと思います。各圏域で行事に参加する機会も増え、新人の方は地域事業へ参加する良い機会になるでしょう。啓蒙、啓発も大事な仕事ですので、多くの会員の参加をお願いします！

広報活動に興味がある方は、広報局への加入もお待ちしています！

編集後記

「さいかい114号」はいかがでしたか？

研修会や学会も徐々に対面での参加が再開され、肌で感じる有意義な機会が増えてくるかと思います！

皆さんで長崎県の作業療法を盛り上げていきましょう！

県北地区担当

しかまち: 上野歩

長崎労災病院: 久保田智博 尾坂愛菜

菊地病院: 亀屋祐喜

柿添病院: 福岡裕介

パンフレットも広報局にあるので問い合わせください(一度は拝読を!)